
ここから始まる物語

胡蝶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ここから始まる物語

【コード】

N9356X

【作者名】

胡蝶

【あらすじ】

異形が織り成す物語。

ヒトと異形のファンタジー？

ここから始まる物語（前書き）

後々残酷な描写や性的、同性愛的な描写が出て来る場合があります。
ご注意を。

尚、この回には含まれていません。

ここから始まる物語

僕は止められなかった。異形の侵食を止められなかったのだ。もっと早く気付いていればやりようはあったのかも知れない。でも遅過ぎた。僕は僕のやり方で世界を救おうと思う。僕には時間が無限にあるのだから……。

いつのことだったか。僕ら“怪異”とか“妖怪”だとかいった存在が表に出始めたのは。まあ、実際はそんな有りそうでない、在りそうでない存在じゃあなくって一般に言う“超能力”みたいなものが見える生物な訳。当初世界のお偉いさん達は僕らのことを“アンノウン”なんてゆうどっかの仮面ライダーの怪人みたいな呼称を付けてたけどそんなのはどうでもいい
(良くない。以後この呼称を使う事にする)

アンノウンが人間を襲い始めた。

人間の慌て様は凄かった。今思えばなぜ正体不明の存在が急に現れたのにまったく警戒しなかったのかは不思議だけど。そんなこんなで人間の数はここ数十年で当時の1/4まで減少してしまった訳だ(笑)

そこで人間はアンノウンに対抗するための“兵器”を創り出した。簡単に言えば毒をもって毒を制すってカンジ。それこそアンノウンの細胞を人体に組み入れてその人間を生物兵器として使うのだ。

酷いね。

で。組み入れたアンノウンの細胞：UC

(Unknown Cell)は、どうにも人体に慣れるのに時間がかかり、また突然変異も多いってんで将来の人間兵器HM(Human Military)を育成する実験を兼ねた施設が世界各地に出来た訳。今は専ら軍の中学校やら高等学校やらになってるんだけど。

僕が通ってるのはその一つ、旧帝都学院。え？なんでアンノウンの僕がそこに通ってるのかって？そりゃあ人間、使えるものは使うさ。だって見た見た目人間だし。ここの人間やたら戦闘力高いし。

てな訳で(“訳で”使い過ぎ)。僕の物語を始めるとするかな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9356x/>

ここから始まる物語

2011年10月26日02時05分発行